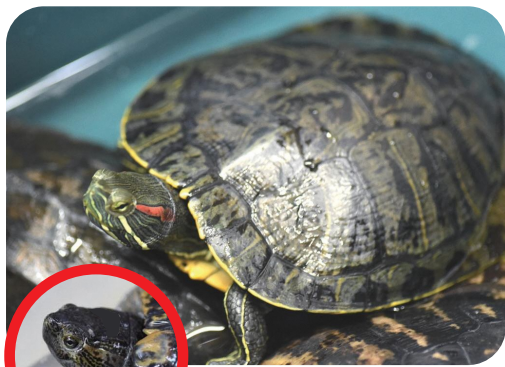




生態系への影響が大きい外来生物

ミシシッピアカミミガメの見分け方



黒化型もある
黒化型には赤い模様は無い

- 学 名 : *Trachemys scripta elegans*
- 法 規 制 : 条件付特定外来生物
※ペット飼育はできるが、野外に放つことは法律で禁止
- 原 産 地 : アメリカ合衆国南部～メキシコ北東部
- 大 き さ : 最大サイズで甲羅長30cm程度、体重2.5kg程度
- 拡大理由 : ペットショップなどでミドリガメの名で子亀が大量に輸入・販売されたが、大きく育ち飼いきれなくなった個体が野外放逐されたことにより各地で増殖した
- 見分け方 : 目の後ろに赤い模様がある、甲羅の腹側は黄色地に黒の模様
ただし黒化型の顔は黒く背中側は白っぽい個体が多い



黒化型の背中側は白っぽい個体が多い



甲羅（背中側）



甲羅の腹側は黄色地に黒の模様

甲羅（腹側）



子亀の時は全体的に緑色

子亀（ミドリガメ）

早見表

～他のカメと見分けるチェックポイント～

1 目の後ろに赤い模様がある？



いいえ

2 腹側は黄色地に黒の模様がある？



いいえ

ニホンイシガメやクサガメの可能性が高い

はい

ミシシッピアカミミガメ

はい

3 背中側は黒または灰色に黒い筋模様がある？



いいえ

ミナミイシガメの可能性あり

※裏面の詳しい見分け方を参照



ミシシippアカミミガメと間違えやすい

滋賀県に生息する他のカメの特徴

ニホンイシガメ



クサガメ



スッポン



顔

甲羅（背中側）

甲羅（腹側）

- 滋賀県のカメ類：主に、ニホンイシガメ、クサガメ、スッポン、ミナミイシガメ、ミシシippアカミミガメの5種
※カミツキガメの記録もあるが、定着は確認されていない
- 希少性：ニホンイシガメは希少種、スッポンは要注目種として滋賀県レッドデータブック 2020 年版に選定
- 外来種：クサガメ、ミナミイシガメ、ミシシippアカミミガメは外来種とされる
※ミシシippアカミミガメは条件付き特定外来種として積極的な駆除対象とされる